

七高SSH通信

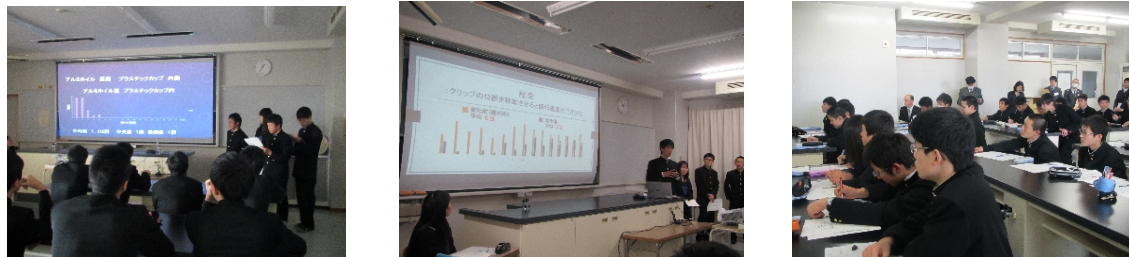
～七尾高校理数科だより～

H27・3・4
石川県立七尾高等学校
SSH推進室
平成26年度 第12号

SSH・NSH公開授業

2月4日（水）に、本校理数科と文系フロンティアコースの公開授業が合同で開催されました。金沢大学の先生方や、県外のSSH校や県内高校、中学校の先生方など多くの方々がお来校下さり、理数科や文系フロンティアコースの特色ある授業を見て頂きました。理数科では、フロンティアサイエンスⅠ（理数科1年）「北陸の雷」の授業を行いました。

この授業では、これまで行ってきたフランクリンモーターの作製をととした探究活動の最後のまとめとして、各班がその内容をパワーポイントで発表しました。

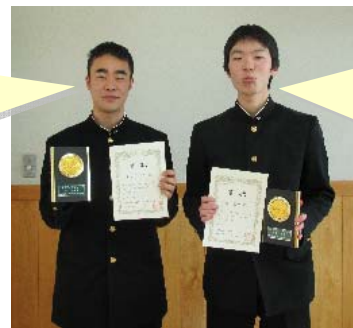


数学オリンピック



1月12日（月）、七尾高校にて第25回日本数学オリンピックの予選が行われました。本校からは1・2年生22名が挑戦し、24H 長谷川大空さんと26H 西宏泰くんが見事予選を突破し、本選出場を果たしました。数学オリンピックの予選通過はたいへん厳しく、今年度の本選進出者は甲信越・北陸地区からわずか5名でした。長谷川くんは昨年度に引き続き2年連続本選に進出しました。本選は2月11日（水）、金沢市など全国8会場で行われました。

長谷川大空くん：2年連続予選を突破することができてうれしいです。これから文武両道に活躍できるように頑張りたいです。



西宏泰くん：予選を突破することができると思わなかった。本選では自分以上に問題を解く人を目の当たりにして驚いたが、この大会をとおして、僕は数学がさらに好きになった。

数学オリンピックとは 世界の多くの国から数学好きな高校生らを選抜し、コンテストを通して生徒の才能を伸ばすために、1959年より毎年7月に行われているものです。1990年より毎年日本から選手6名を派遣しています。この6名の選手を選ぶための日本国内でのコンテストが日本数学オリンピック(JMO)です。毎年1月の予選、2月の本選、3月の春合宿を通して選手が選ばれます。

生物・物理・化学の研究発表会

生物、物理、化学の研究発表会が次のように行われ、七高アカデミアで行われた研究成果を発表しました。

- 12月 6日（土） 生物のつどい 金沢西高校 4件発表
- 12月 14日（日） 石川県中学・高校物理研究発表会 金沢泉丘高校 4件発表
- 12月 23日（火） 石川地区中学高校生徒化学研究発表会 石川県文教会館 4件発表

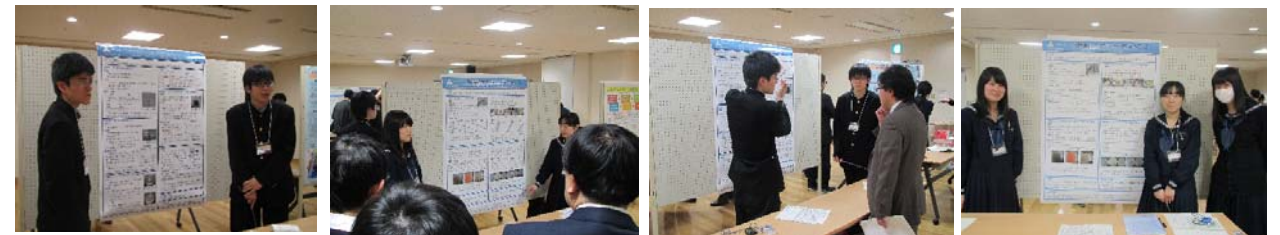
12月末に、これらの発表会で発表された研究の中から、来年の全国高校総合文化祭の石川県代表が決まりました。本校から、化学と生物の部門に各1件選ばれました。



北信越地区自然科学部研究発表会

来年の全国高校総合文化祭の石川県代表グループが、2月7日（土）上越市で行われた「第2回北信越地区自然科学部研究発表会」でポスター発表を行ってきました。発表したのは次の2グループです。

- 生物部門 「殺菌スプレーを作ろう」 26H 池高、川向、中村、藤田
- 化学部門 「シャボン膜を介した気体の移動について」 26H 池田、新谷、西野、橋本



スーパーサイエンス教室

2月8日（日）に、いしかわこども交流センター七尾館で、小学生を対象に「スーパーサイエンス教室」を実施しました。今回の内容は『多面体ボール作り』と題して、折り紙を使い、七尾高校理数科の生徒と一緒に、小学生やその保護者の方々と、グループに分かれて行いました。

